

文理探究科連絡協議会

東京学芸大学探究プロジェクトとの連携における 授業研究会(公共)を開催しました！！

令和5年11月2日(木)に、昨年度から長崎県文理探究科連絡協議会と東京学芸大学とで実施している連携事業「東京学芸大学高校探究プロジェクト」において、研究会を開催しました。この事業は、東京学芸大学の先生や県教育委員会、県内の高校の先生方がチームとなって、1年間かけて授業準備を進めていくという協働型の授業づくりで実践しています。大村高校では、今回、学校設定科目「OMURA STEAM LABO」のプログラムの一環として、公共の中の哲学を取り入れた内容で授業を行いました。

<事業の概要>

目的 各教科がチームを結成し、高校探究プロジェクトと連携して、協働的に、授業研究に取り組むことで、各教科における探究的な学びの実現に向けた授業改善を図る。また、この取組を県内に発信し、県全体の授業改善の推進に資する。

授業者 大村高等学校 教諭 小林 詳梧

教科・科目 学校設定科目「OMURA STEAM LABO」における公共分野

授業対象者 文理探究科1年1組、2組

単元 「哲学入門」 自己と他者の生き方～公共の場をどうつくる？～

当日は、東京学芸大学の日高智彦先生を始め、県内の高校や本校の先生方に参加をしていただき、午後の研究協議も活発な議論が展開されました。



写真 左上：研究授業の様子その1
左下：日高智彦先生の協議での様子

写真 右上：研究授業の様子その2
右下：先生方の授業研究の様子